

9月6日（金）

大阪・上海友好都市提携45周年記念 青少年絵画交流展視察

上海芸術品博物館において開催されている青少年（中学生）絵画交流展を視察した。

この絵画交流展は、大阪市と上海市における友好都市提携45周年を記念し、若い世代の国際意識の醸成や国際理解の促進とともに国際交流の担い手の育成を図るために企画された交流事業の一つである。

博物館に到着後、まず、会議室へ移動し、胡 上海芸術品博物館理事長より挨拶があった後、高橋副市長が挨拶し、続いて広田議長が挨拶をした。その後、意見交換を行い、館内で開催されている青少年絵画交流展を視察した。

【胡理事長挨拶要旨】

皆様とお会いすることはすごく良い縁だと思っている。まずは皆様に博物館のことを簡単に紹介したい。

この博物館は10年前、上海万博の際の国同士の贈呈品や記念品を展示するために建てたものである。万博終了後の10年間は国際交流を目的として運営しているところで、今も、I COMという国際博物館会議のメンバーとして頑張っている。先日、日本を訪れたのは、愛知県に行く目的だけでなく、京都のI COMに行くという目的もあった。

この博物館は世界中の30以上の国と交流を続けてきた。

毎年6月には国際伝統工芸展を開催しており、世界中の国々が参加してくれている。この展示会のほかに、子どもたちの交流展等も毎年開催している。その中でも、特に日本との交流が多かった。日本の伝統工芸と旅行のプロジェクトを上海で宣伝した際には中南米の知事がこの博物館を訪れたこともある。毎年、展示会の開幕式とあわせて国際的な無形文化財におけるフォーラム、文化と旅行の推進を同時に行っている。

また、上海の高島屋のデパートの中にギャラリーをつくり、その運営も博物館が担当している。この博物館と日本との交流は文化的な面だけでなく商業という点でも交流している。

当博物館の展示会として、世界中の芸術家を上海に集めるというプロジェクト、上海、中国の伝統文化を世界中に広めるというプロジェクトもやっている。

毎年、世界中の国々で上海の無形文化財の展示会を開催しており、去年は地元で開催し、今年はトルコ、来年はスロバキアで開催する予定である。来年までは姉妹都市で開いており、ぜひ大阪でもやる機会があれば巡回したいと思う。

上海市と大阪市は今年45周年記念で特に関係が深いと思う。これからは経済的な交流のほかには文化的な交流も期待している。

最後に再び副市長、議長、皆様の来館に感謝申し上げます。

【高橋副市長挨拶要旨】

本日は大阪市会議員団、大阪市代表団を温かく受け入れていただき心から感謝申し上げます。この雨のなか、公園のなかをご案内いただき重ねて感謝申し上げます。また、日程にあわせて急遽愛知から帰国いただき感謝申し上げます。

大阪市は上海市と友好都市提携を1974年に結んで今年で45周年を迎える。この友好都市提携45周年記念として8月31日、児童絵画交流展に胡理事長が出席していただき、開幕されたことに対しても感謝申し上げます。

児童絵画交流展といった文化イベントを通じ、若い世代の国際意識の醸成、国際交流の担う若い人材を育成していくことが重要だと考えている。

今、胡理事長から上海の無形文化財の大阪での展示という提案があった。いつ頃、どこで開催できるのか、日本に持ち帰って考えてみたいと思う。

日本の言葉でも雨降って地固まるということわざがあるが、今回の交流を機に、ますます上海と大阪の交流が深まるということを祈念してご挨拶とさせていただきます。

【広田議長挨拶要旨】

この度は心の温かいおもてなしを頂戴し心から感謝申し上げます。

大阪・上海友好都市提携45周年という記念すべき年に上海市を訪問できましたことを大変光栄に思う。また、このような両市民の文化交流を深める展覧会を見学させていただくことができたことは、この上ない喜びである。

大阪市と上海市は、これまで学術交流やスポーツなど多くの分野で交流を深めてきた。そして、45周年という記念すべき年にこのようなすばらしい展覧会を開催することができたのも、両市民の皆様方をはじめ、関係者の皆様方のご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

大阪市会としても、この両市の交流をますます緊密なものとし、大阪と上海の友好協力関係の発展に大きく寄与していきたい。

最後に、皆様方のご健康とご多幸を祈念し、私の挨拶とさせていただきます

【意見交換要旨】

〔胡理事長〕

- ・上海の無形文化財の展示会は、政府の正式な大きなイベントであり、場所は国立や市立博物館内で行っている。
- ・昨年もエジプトの国立博物館内の展示ホールで行っている。今年はトルコのイスタンブールにあるメイン美術館で、また来年はスロバキア国立博物館で行う予定である。
- ・中国の文化を世界中の人にみてもらえるよう協力してほしい。

- ・会場の面積は400㎡から100㎡くらいの面積が一番適合する。友好都市の交流として1カ月間くらいの会期があればと考えており、国立博物館等の場所も無償で提供していただければと思う。他に全ての開幕式費用とか運送費用は上海側が負担する。
- ・日本の自治体、都道府県の議員とも交流をしている。
- ・3週間前、当博物館での第4回目国際子どもの芸術展に石川県議会議員にも参加いただいた。理由として、第4回目の国際子どもの展示会にあつては、石川県からも20名くらいの子どもの作品が紹介されていたためである。
- ・今、中国と日本の議員の書道展を計画している。議員の中には書道好きな方がたくさんいる。来年、習近平主席が日本を訪問する予定で、その記念として計画している。上海の人民代表大会とも相談させていただき、展示会も日本の姉妹都市で開催できればと考えている。今度、ぜひ大阪市に伺って、またこの話をさせていただきたいと思う。

〔高橋副市長〕

- ・上海の無形文化財の展示会を大阪で2021年以降に開催されたいとのことで、大阪にも国立・市立の美術館がある。市立美術館は2020年以降空いている時期を確認するが、3年程先まで詰まっているので2021年も埋まっているかもしれない。費用は市長と相談する。

青少年絵画交流展に展示されているものは、両市の中学生等がお互いの都市や国際交流をテーマとして描かれた絵画であるが、市会代表団全員が展示されている絵画の技術レベルの高さに驚くとともに、それらの芸術性にも強く関心を持った。



胡理事長と



青少年絵画交流展の視察

上海国際港務（集団）股份有限公司（S I P G）訪問

大阪港と上海港は1981年より友好港提携を結んでいるが、その港湾管理運営者として、友好港交流の主要なカウンターパートである上海市国際港務(集団)股份有限公司(S I P G)を訪問した。

まず、G U（グー）会長より挨拶があった後、高橋副市長が挨拶をし、続いて広田議長が挨拶をした。その後、今後の両港の交易拡大と友好関係の促進について意見交換した。

【G U会長挨拶要旨】

本日、大阪市、大阪市会の方々においでいただき、S I P Gを代表して心から歓迎する。上海市と大阪市が友好都市提携を結んで45周年、中国では一番早い時期に友好都市を提携したまちである。提携締結以来は各分野で交流を進めていただいている。上海人としては、大阪の方とお会いすると懐かしい気持ちになる。

【高橋副市長挨拶要旨】

本日はご多忙のところ、G U会長様をはじめ、皆様方には、私達をこのように温かく迎えて頂き、深く感謝申し上げます。

また、一昨年に大阪港の開港150年を記念して開催した大阪港開港150年記念式典及びアジア国際港湾会議には、C H E N（チェン）前会長をはじめ4名の方にご出席いただき、大阪港の姉妹港・友好港をはじめとする海外港の皆様と開港150年という節目の時を共有することができた。改めてお礼申し上げます。

今回、我々は大阪と上海、友好都市提携45周年を記念して訪問した。記念事業について上海市との関係強化をするとともに企業誘致に向けて取り組んできた。昨日は大阪プロモーションセミナーを開催して、上海市のご協力のもと150名もの参加者のもと成功に終わることができた。本日は大阪港と上海港の関係をより親密するために訪問した。上海港と大阪港の連携が深まることを祈念するとともに、今後、上海港、S I P Gのますますの発展、健勝ご多幸をお祈りして挨拶とさせていただきます。

【広田議長挨拶要旨】

このたび、大阪・上海友好都市提携 45 周年という記念すべき年に上海市を訪問できたことを大変光栄に思う。また、こうしてお会いできたことは、この上ない喜びである。

この30年の間に、経済のグローバル化が進み、港湾におけるコンテナ取扱量は年々増え続けている。本市においても、大阪湾の国際競争力の強化などが課題とされており、港湾事業のあり方について議論が行われている。

そのような中、世界有数の貨物取扱量を誇る上海市における港湾整備や港湾運營業務の取り組みについて、貴重なお話をお伺いできることは大変有意義であると考えている。この後も意見交換等をさせていただくことにより、本市施策の参考にして行きたいと考えている。



挨拶する広田議長

【意見交換要旨】

〔GU会長〕

- ・大阪市は上海と同じ港のまちである。上海は80年代まだ建設が遅れていたが、大阪と友好都市提携を結び、発展することができた。大阪市、港湾の方とはお互いに訪問しあって交流をして両都市の関係が深いと感じている。
- ・初めての日本訪問は大阪で、1990年のことである。昨年も日本、大阪を訪問させていただいた。大阪の街はとてもきれいな街で好きな街である。心齋橋商店街に久しぶりにいき食事をとったがとても賑やかなところである。
- ・上海国際港務集団と大阪市港湾局はとても長い付き合いである。2017年、150周年のとき、前任の会長がお招きいただいたことを感謝している。お互いに勉強しあって、共に発展していきたい。
- ・上海市は早いテンポで発展してきた。上海区が今日のように発展できるのは中国の経済政策であり、貿易から離れてはいけない。
- ・もう一つは立地条件であり、非常に発達したところである。日系企業もたくさん進出されている。国際航路の中で日本の航路の数が多い。グループ内に船会社もあるが、大阪にお世話になっている。長く支援いただいて感謝申し上げます。

〔田中港湾局長〕

- ・港に関していうと我々の大阪港においてはその55%が中国との取引である。その中でも上海が20パーセントを占めている。
- ・1981年に友好港の提携を始めて、2021年には40周年を迎えることになる。記念セミナーについて、また議論させていただきたい。

〔高橋副市長〕

- ・大阪の発展は港からということもあり、大阪の発展に大阪港は重要な役割をしている。
- ・私も市政の中でしっかり大阪港の改革を進め、港湾局はS I P Gさんとしっかり連携して、中国の成長の勢いを大阪に取り込んでいきたい。色々と港湾局長がお世話になるがよろしくお願ひしたい。

〔港湾局長〕

- ・都市計画局時代に同済大学と日本の大学の連携に関する仕事もしていた。GU会長が同済大学出身ということで非常に縁の深いことを感じていた。
- ・教育や港など、色々な点で上海と大阪は交流できると思っている。

〔GU会長〕

- ・ぜひ港湾と教育文化、様々な面で広い交流を進めていきたいと考えており、期待している。
- ・上海市、大阪市それぞれのまちづくりの中でもっと深い交流を進めていきたい。これからも緊密関係が続けて、先人がつくり上げた土台をベースにして、さらに深く交流していきたい。
- ・上海港のコンテナ取扱量が昨年は4,201万トン、この数字は世界一の取扱量である。港湾の取扱量は世界一になったが港湾の管理、マネジメントはまだまだのところがたくさんある。ぜひ港湾同士で意見交換をしながら共に発展していきたい。私たちも大阪港の良いところを勉強しながら交流を深めていきたい。
- ・現在、洋山深水港で自動化ターミナルが整備されている。人件費削減、技術の向上のため、昨年から整備された。自動化ターミナルは効率が良く、1時間あたり取扱量は平均で44個である。人がするところは安定していないが自動化すると安定している。
- ・日本も自動化ターミナルが整備されているところがある。他の国でも整備している港もあるが、規模としては上海が一番大きい。荷物の移動、トラックの輸送、無人化など検討している。今後、このような実務的な具体的なテーマに沿って交流を進めたい。

〔港湾局長〕

- ・ご承知のとおり、日本は自動化が遅れている。そのような中でも大阪港は港湾労働者の技術が高くて1時間あたり40個をさばける。ただし、今後は高齢化も進んでいくので我々も自動化を真剣に検討し始めているところである。
- ・ボリュームをいうのは恥ずかしいが大阪港のコンテナ取扱量は210万トンである。ただ、関西には多くの人がいるので大阪港の重要性は変わらないと考えている。

- ・毎年技術交流で人の交流を進めているが、今後も続けて我々も色々アイデアをいただきたい。



GU会長と

インキュベーター施設「張江人工知能島 (AI Island)」視察

企業や研究機関などが集積し、人工知能技術を融合させたものづくりを実現するインキュベーター施設「張江人工知能島 (AI Island)」の視察を行った。

張江人工知能島は、上海全体をリードする科学技術イノベーション発祥地として、またAI産業や人材の集積地にするためのエンジンとして2018年4月に開発事業者である上海張江(集団)有限公司により開発が始まり、国内外のAI関連企業、スタートアップ、大学、研究施設の集約を進めているところである。

まず、展示ホールを視察した。



展示ホールのエントランス

展示ホールでは、第5世代通信(5G)とVR(仮想現実)、自動運転、ビッグデータ処理等のAI技術を活用した交通、医療、製造、家電、教育などの生活レベルでの製品が展示されていた。また、屋外でもセキュリティや灌漑システムなど都市全体をAIで管理するスマートシティの分野の技術で実用化に向けた実験が行われていた。

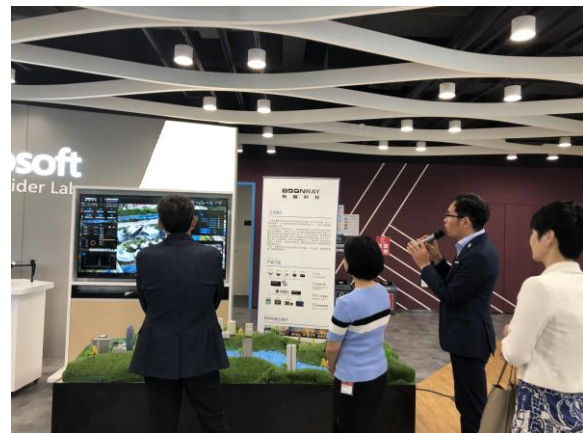


展示ホールの視察

続いて、マイクロソフト社の研究ラボへ移動すると、まず、ラボにおける取組みなどに関するプレゼンテーションがあった。

当該ラボはマイクロソフト社が世界中に設けている3つの実験センターの一つであり、最も大きなラボである。ここでは研究のみならず、企業へのサポートや取引先のニーズに応じたモノ、プランの製作など多岐にわたった事業が行われている。

プレゼンテーション終了後、ラボ内を視察した。ラボ内では、アメリカにある実験センターのVTRやマイクロソフト社がサポートしている企業のドローンを使った環境システムの展示について説明を受けた。



マイクロソフト社の研究ラボの視察

視察を終えた後、会議室に入り、AI・IOTの開発事業者と意見交換を行った。

ここでは、上海張江（集団）有限公司の陳副総経理より、今回の訪問を契機に日本企業が先端技術を持ち込んで提携することを期待する旨、AI技術の急速な発展は同時に個人情報漏洩や侵入などの問題を伴うため、政府の対応は用心深くあるべき旨の意見が述べられた。

その後、高橋副市長からは、2025年の大阪・関西万博の場では世界に未来の都市をPRしたいと考えており、AIや5Gといった先進機能を使った展示が必要であるため未来都市展示に向けた研究・理解を深めていきたい旨の発言があった。また、上海市と大阪市が相互連携し、企業同士、都市同士のオープンイノベーションで新しい都市を作っていく旨を伝え、大阪のスタートアップ企業との連携、HACK OSAKA2020への参加および大阪・関西万博への来場の呼びかけを行った。



AI・IOTの開発業者との意見交換

おわりに

帰国時にあっては、台風の影響により飛行機の大幅な遅延が発生したが、上海滞在時は非常にタイトなスケジュールのなか、上海市をはじめ、訪問先の皆様の多大なご協力のもと、円滑に行程を進めることができた。

上海市や上海市人民代表大会を表敬訪問し両市の親善を深めることができたことに加え、プロモーションセミナーや意見交換会など多くの場において、行政関係者のみならず、民間企業をはじめとした様々な方々とも広く交流を深めることができ、経済交流や文化交流にとどまることなく、両都市間におけるヒトとヒトの交流、絆をより一層深めることができたことは非常に有意義であった。

また、今回上海市を訪問して特に驚いたのが、上海市における都心部の緑の多さであった。過去に報道されていた甚大な公害問題を、迅速に解決すべき、上海市として

一斉に緑化に取り組んだとのことで、高層ビルの立ち並ぶ近未来的な街並みと緑の共存が、まさに都市の発展のスピードを物語っていた。

最後に、今回の海外出張に際し、事前の準備及び現地での案内、随行等でお世話になった大阪・上海両市の関係者の皆様に心からお礼申し上げます。